

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月23日

上場取引所 東大

上場会社名 JSR株式会社
 コード番号 4185 URL <http://www.jsr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小柴 満信

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 櫻井 秀雄

TEL 03-6218-3517

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	259,339	1.6	29,062	△2.9	32,012	△0.1	18,941	△8.3
23年3月期第3四半期	255,339	12.4	29,941	164.9	32,038	166.2	20,652	239.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 15,356百万円 (△13.1%) 23年3月期第3四半期 17,662百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	78.52	78.38
23年3月期第3四半期	84.56	84.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	419,208	271,650	64.5
23年3月期	390,590	264,116	67.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 270,286百万円 23年3月期 262,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
24年3月期	—	16.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	8.6	41,000	4.9	43,000	0.9	28,000	1.6	116.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料3ページ 2. サマリー情報(その他)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	255,885,166 株	23年3月期	255,885,166 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	14,645,444 株	23年3月期	14,644,993 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	241,240,023 株	23年3月期3Q	244,235,915 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成24年1月23日(月)に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から同年12月31日）における世界経済は、アジア新興国を中心に基調として成長を維持しているものの、欧州における財政・金融不安、米国失業率の高止まり、中国、インドの成長率鈍化等による下振れ懸念が強まり、先行き不透明な状況が続きました。

日本経済は、歴史的な円高の継続、タイにおける洪水被害等、引き続き厳しい環境に置かれてきましたが、期間の後半には、東日本大震災により甚大な影響を受けた生産や消費に持ち直しの動きが広がりました。

当社グループの主要な需要業界におきましては、自動車の国内生産は震災の影響により大幅に落ち込みましたが、自動車タイヤの生産は世界的な需要の伸びに支えられ堅調に推移しました。半導体の生産は、パソコン向けのDRAM需要は低迷しましたが、スマートフォン、多機能携帯端末向けの半導体需要は堅調に推移しました。フラットパネル・ディスプレイの生産は液晶テレビ需要の不調を受け低調に推移しました。

原料面では、ナフサ価格は前年度の後半から上昇しており、当年度の前半より下降に転じたものの、依然、石油化学系の原材料価格は前年同期に比べて大幅に高い水準で推移し、収益圧迫要因となりました。

このような経済状況のもと当社グループは、石油化学系事業では、震災の影響を最小限にとどめるべく生産設備の早期復旧とその後のサプライチェーンの最適化に注力し、併せて、主要原材料価格の上昇に対応した価格改定に努めました。多角化事業では、グローバルマーケットでの最先端材料の展開と製造コストの低減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,593億39百万円（前年同期比+1.6%）、営業利益290億62百万円（同△2.9%）、経常利益320億12百万円（同△0.1%）、四半期純利益189億41百万円（同△8.3%）となりました。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高						
エラストマー事業	119,269	46.7%	131,164	50.6%	11,894	10.0%
合成樹脂事業	39,050	15.3%	37,728	14.5%	△1,321	△3.4%
多角化事業	97,019	38.0%	90,446	34.9%	△6,573	△6.8%
合計	255,339	100.0%	259,339	100.0%	3,999	1.6%
区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	比率
営業利益	29,941	11.7%	29,062	11.2%	△879	△2.9%
経常利益	32,038	12.5%	32,012	12.3%	△26	△0.1%
四半期純利益	20,652	8.1%	18,941	7.3%	△1,710	△8.3%

①エラストマー事業部門

合成ゴムの販売につきましては、期の前半、震災の影響により、イソプレンゴム、エチレン・プロピレンゴムが5月後半まで生産停止を余儀なくされたことや国内自動車生産の大幅な落ち込みによる販売数量の減少はありましたが、スチレン・ブタジエンゴムやポリブタジエンゴムなどの汎用合成ゴムが、タイヤメーカーの旺盛な需要に支えられ堅調に推移するとともに、主要原材料価格の上昇に対応した価格改定も加わり、売上高は前年同期を上回りました。エマルジョン主力製品の紙加工用ラテックスにつきましては、製紙メーカーの震災被害の影響を受け、販売数量は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は、前年同期比10.0%増の1,311億64百万円、営業利益は前年同期比49.9%増の149億64百万円となりました。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	119,269	131,164	11,894	10.0%
営業利益	9,980	14,964	4,983	49.9%
営業利益率	8.4%	11.4%	3.0%	—

②合成樹脂事業部門

合成樹脂の販売につきましては、期の後半は国内向け出荷に回復感がみられるものの、前半は震災の影響により自動車用途での販売が大幅に落ち込み、アミューズメント用途等でも需要が低迷しました。主要原材料価格の上昇に対応した価格改定に努めましたが、販売数量、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は、前年同期比3.4%減の377億28百万円、営業利益は前年同期比31.1%減の16億93百万円となりました。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	39,050	37,728	△1,321	△3.4%
営業利益	2,456	1,693	△763	△31.1%
営業利益率	6.3%	4.5%	△1.8%	—

③多角化事業部門

半導体製造用材料の販売につきましては、スマートフォン、多機能携帯端末の世界的な拡大は見られたものの、パソコン需要の低迷によるDRAM生産減少に歴史的な円高要因も加わり、売上高は前年同期を下回りました。

フラットパネル・ディスプレイ用材料の販売につきましては、液晶テレビ需要の低迷を受けたパネルメーカーの稼働率低下及び円高の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は、前年同期比6.8%減の904億46百万円、営業利益は前年同期比29.1%減の124億4百万円となりました。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	97,019	90,446	△6,573	△6.8%
営業利益	17,503	12,404	△5,099	△29.1%
営業利益率	18.0%	13.7%	△4.3%	—

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,237	26,823
受取手形及び売掛金(純額)	73,323	88,509
有価証券	55,996	65,945
たな卸資産	57,853	68,258
その他	27,303	32,236
流動資産合計	258,715	281,773
固定資産		
有形固定資産	79,848	82,226
無形固定資産	5,293	5,289
投資その他の資産	46,734	49,919
固定資産合計	131,875	137,435
資産合計	390,590	419,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,380	83,024
短期借入金	14,611	14,896
未払法人税等	8,780	6,109
その他	18,058	24,308
流動負債合計	106,830	128,339
固定負債		
退職給付引当金	14,175	14,217
環境対策引当金	2,960	2,728
その他	2,507	2,273
固定負債合計	19,644	19,219
負債合計	126,474	147,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	244,413	255,635
自己株式	△27,320	△27,321
株主資本合計	265,592	276,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,606	2,679
為替換算調整勘定	△6,519	△9,206
その他の包括利益累計額合計	△2,913	△6,527
新株予約権	545	628
少数株主持分	892	735
純資産合計	264,116	271,650
負債純資産合計	390,590	419,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	255,339	259,339
売上原価	186,276	190,738
売上総利益	69,063	68,600
販売費及び一般管理費	39,121	39,538
営業利益	29,941	29,062
営業外収益		
持分法による投資利益	2,484	3,212
その他	1,463	1,134
営業外収益合計	3,947	4,346
営業外費用		
為替差損	424	489
その他	1,426	906
営業外費用合計	1,850	1,395
経常利益	32,038	32,012
特別損失		
災害による損失	—	815
投資有価証券評価損	961	—
特別損失合計	961	815
税金等調整前四半期純利益	31,077	31,197
法人税等	10,345	12,211
少数株主損益調整前四半期純利益	20,732	18,986
少数株主利益	80	44
四半期純利益	20,652	18,941

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,732	18,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△397	△926
為替換算調整勘定	△2,360	△2,002
持分法適用会社に対する持分相当額	△311	△699
その他の包括利益合計	△3,069	△3,629
四半期包括利益	17,662	15,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,605	15,327
少数株主に係る四半期包括利益	57	29

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	エラストマー 事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	131,164	37,728	90,446	259,339	—	259,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,982	—	—	3,982	△3,982	—
計	135,146	37,728	90,446	263,321	△3,982	259,339
セグメント利益(営業利益)	14,964	1,693	12,404	29,062	—	29,062

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	エラストマー 事業 (百万円)	合成樹脂事業 (百万円)	多角化事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	119,269	39,050	97,019	255,339	—	255,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,356	—	—	3,356	△3,356	—
計	122,625	39,050	97,019	258,695	△3,356	255,339
セグメント利益(営業利益)	9,980	2,456	17,503	29,941	—	29,941

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。